

今、生きるということ

片桐英数塾通信

河合サテライトネットワーク校
 全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
 TEL 24-1337
 FAX 82-6185
天神教室
 TEL 23-1899
 E-mail
 info@katagirijuku.com

何かを感じなければならぬ。
 そして考えなければならぬ。
 この現実を受け止めるために……

三月十一日。東北関東大震災が発生しました。その被害の大きさは表現のしようの無い程のものであり、何と言えれば良いのかと言葉に詰まってしまいました。ただただ、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災された方々、その家族の皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。あ、の惨状をテレビで見ると、人の命について考えざるをえません。普段、日常で一人の命が奪われただけで大きな問題になるというのに、報道される失われた命の数は、千とか万とか、全く想像の出来ない数字です。しかも、普通に日常生活を送っていただけなのに、突然に命を奪われた。私には、この現実を現実として認識できるだけの経験もなく、現実だと自分に言い聞かせようとしても、どうしても、現実ではなくて悪夢だろう、と考えてしまう、いや、考えたくなくて、情けないものです。悪夢と思いたくなるほど

多くの命が奪われてしまったことを、そもそも地震は予期できないのだから、その予期できない地震による災害なんだから……、と片付けてしまっても良いのだろうかと考えてしまいます。これまで、外国なんかで発生した災害をテレビなどで見た時は、お恥ずかしながら、どこか自然のいたずらのようなものだと思ってしまう。今回ばかりは、そんなにサッパリと片付けられませんが、被災地では、過去、同じように地震による津波の災害を受けたことがありまして。そして、高さ一〇メートルという巨大

な防潮堤を建設してしました。しかし、今回の津波は、これまでなら越えるはずの無かった高さを軽々と超えて襲ってききました。また、原子力発電所も、地震に対しては十分に考えて作られていたはずですが、これまでは考えられなかった規模の地震が一たび起こると、それは、予想以上に無力なものでした。やはり、人は自然には勝てないのです。人が自然に対して征服できたと考えられるのは、人が勝手に作った基準の中で自然がいてくれ

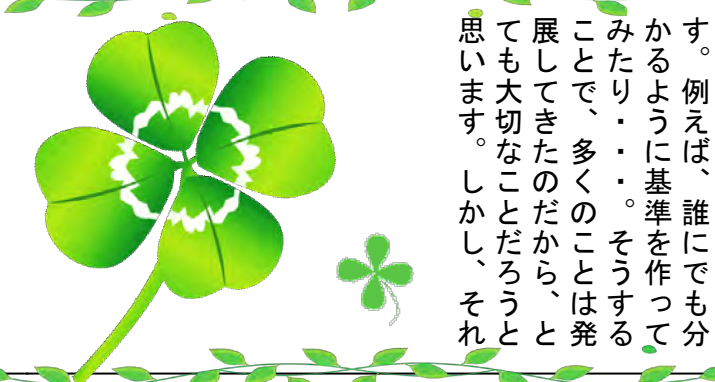
る間に限ったこととです。その基準から自然が出てしまうと、もう人はどうしようもできない。こういう、人の驕りという勘違いというものが、自然だけでなく色んなところに顔を出してきている。そのことを、私はこの地震から思わずにはいられません。人は普遍的なものを考え、物事を抽象化し、簡単に考えられるようにしようとする習性があると思えます。例えば、誰にでも分かるように基準を作ってみたり……。そうすることで、多くのことは発展してきたのだから、とても大切なことだろうと思えます。しかし、それ

は、そうすることだけが全てであるというようないふ思ひます。基準外のこともあり得ると考えるには、普遍化したものの、抽象化したものを一度バラバラにして考えてみるだけの気概が必要であり、基準に従って物事を成した方が、速くて楽かもしれませんが、手間をかけて、一つ一つ考えることの方が安全で、これからは、そのような手間が求められるような気がしてなりません。

この災害による被害は、とてつもなく大きいです。被災地のことを考えますと、こう書くことすら憚られるのですが、経済的なダメージは計り知れず、また、国際的にも、エネルギー供給の面で、各国はエネルギー戦略を見つめ直さなければならなくなると思えます。しかし、国際的なことまで考えるだけの余裕などないでしょうし、とにかく、被災地はもとより、国の一日も早い復興を目指すことが何よりも大切なことです。

この災害での犠牲となられた方のことを考えれば、私たちは、何かをこの災害から得ないといけないと思えます。なぜ、今学んでいるのか、将来自分はどうすべきか、という、とても深いところから一つずつ真摯に向き合って考えるべきだと思えます。そして、自分の成すべきを悟り、志を持ち、事に向かうことが求められているのだと思えます。今、生きていることの意味をもっと深く考えることが求められています。

2011年度大学入試における塾生の合格状況、合格体験談は編集後、ホームページにて紹介致します。



春から始めよう!
「河合サテライト講座」

大学受験を考えるならば早めのスタートが成功のカギです。
 その高2生、高3生!
 「学校の課題で一杯一杯…」なんて言っている場合ではありませんよ。
 主要教科の基礎固め、理科地歴科目の受験勉強は早めに計画的に進めておこう!
 受講詳細は坂本教室まで!

坂本教室からのお知らせ
 坂本教室の4月の休日は、
3日(日) 10日(日) 17日(日)
24日(日) 30日(土)です。

メールでの連絡はこちらまで!
info@katagirijuku.com
 携帯アドレス↓
katagirijuku@docomo.ne.jp

お車での送迎について

お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。

お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。